

第11期 (2019年8月13日)	
基準価額	11,860円
純資産総額	150百万円
第11期 (2019年2月13日～2019年8月13日)	
騰落率	4.5%
分配金合計	0円

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記の弊社ホームページを開き「個人投資家の皆様へ」の上部にある「サイトマップ」より当ファンドの名称を選択いただき、さらに「運用報告書（全体版）」を選択いただきますと運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。
- 書面での運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

ピクテ・グローバル・ インカム株式ファンドDC 愛称 グロインDC

追加型投信／内外／株式

第11期（決算日2019年8月13日）

作成対象期間：2019年2月13日～2019年8月13日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、「ピクテ・グローバル・インカム株式ファンドDC」は、このたび、第11期の決算を行いました。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主に高配当利回りの世界の公益株に投資し、中長期的な信託財産の成長を図ることを目的としております。

当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

ピクテ投信投資顧問株式会社

東京都千代田区丸の内2-2-1

お問い合わせ窓口

投資信託営業部

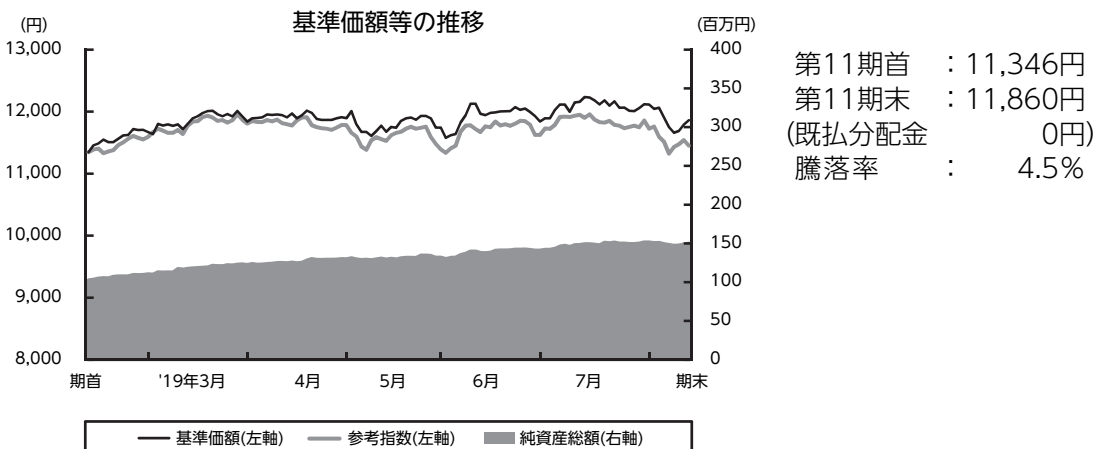
電話番号 03-3212-1805

受付時間：委託者の営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページ：www.pictet.co.jp

運用経過

基準価額等の推移



※参考指数は、MSCI世界公益株価指数を委託者が円換算したものであり、期首の基準価額に合わせて指数化しています。

MSCI世界公益株価指数は、MSCI Inc.が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

基準価額の主な変動要因

- 上昇↑ ・実質的に組入れているネクステラ・エナジー（米国、電力）やエクセル・エナジー（米国、電力）などの株価が上昇したこと
- 上昇↑ ・実質的に組入れている株式からの配当収入
- 下落↓ ・円に対してユーロなどが下落したこと

1万口当たりの費用明細

項目	当期 (2019年2月13日~2019年8月13日)		項目の概要
	金額	比率	
平均基準価額	11,850円	—	期中の平均基準価額（月末値の平均値）です。
(a) 信託報酬 (投信会社)	62円 (17)	0.527% (0.140)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ・ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、各種情報提供等、基準価額の算出等の対価 ・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続等の対価 ・ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(45)	(0.377)	
(受託会社)	(1)	(0.010)	
(b) その他費用	3	0.027	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
(監査費用)	(3)	(0.027)	
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	65	0.554	

- ・上記の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、設定・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- ・各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、各項目毎に小数第3位未満は四捨五入しています。
- ・各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
- ・各金額の円未満は四捨五入しています。

最近5年間の基準価額等の推移 (2014/8/11~2019/8/13)



・ 設定日 (2014年5月19日) 以降の推移を表示しております。

決算日	2014/8/11	2015/8/10	2016/8/10	2017/8/10	2018/8/10	2019/8/13
基準価額 (円)	9,858	11,245	9,830	11,125	11,015	11,860
期間分配金合計 (税引前、円)	—	0	0	0	0	0
基準価額騰落率	—	14.07%	-12.58%	13.17%	-0.99%	7.67%
参考指数騰落率	—	21.94%	-15.04%	15.38%	-1.26%	4.64%
差異	—	-7.87%	2.46%	-2.20%	0.27%	3.03%
純資産総額 (百万円)	0	18	28	42	77	150

・ 参考指数は、MSCI世界公益株価指数を委託者が円換算したものです。基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

投資環境

- ・世界の株式市場は、期首から2019年4月にかけては、米中貿易交渉への進展期待が高まったことなどを背景に上昇しました。5月は、米トランプ大統領が米中貿易交渉の進展状況についての不満を示し、米中貿易問題が再燃したことで、下落しました。6月から7月にかけては、米連邦準備制度理事会（FRB）が政策金利の引き下げを示唆したことや、G20首脳会合における米中首脳会談で米中貿易交渉の再開で合意したことなどを背景に上昇しました。8月上旬から期末にかけては、米トランプ政権が中国に対する追加関税を課すと表明したことから投資家心理が悪化し下落しました。期を通じてみれば、世界の株式市場は上昇しました。
- ・為替市場では、期首から2019年4月にかけては、米中貿易交渉が進展するとの期待が高まったことなどからリスク回避姿勢が後退したことなどを背景に、ドルは円に対して上昇しました。5月から7月にかけては、米中貿易問題の再燃で株式市場が全般的に下落しリスク回避姿勢が強まったことや、FRBの利下げ期待が高まったことを背景にドルは円に対して大きく下落しました。8月上旬から期末にかけても、米トランプ政権が中国に対する追加関税を課すと表明したことから投資家心理が悪化し、米ドルは円に対して下落しました。期を通じてみれば、米ドルは円に対して下落しました。

当該投資信託のポートフォリオ

投資信託証券への投資を通じて、主に高配当利回りの世界の公益株に投資し、中長期的な信託財産の成長を図ることを目的に運用を行ってまいりました。

投資先ファンド	組入比率		当期騰落率
	期首	期末	
PGSF－グローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・ファンド	98.3%	98.5%	+5.2%
ピクテ－ショートターム・マネー・マーケットJPY	1.0%	0.8%	-0.1%

・“PGSF”は「ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド」の略称です。以下当略称で表記する場合があります。

投資先ファンドの組入状況

<PGSFグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・ファンド>

主に高配当利回りの世界の公益株に投資してまいりました。

◇組入上位10ヵ国・地域

【期末】

国・地域名	組入比率
米国	62.5%
イタリア	6.6%
英国	5.0%
カナダ	4.4%
ドイツ	3.7%
フランス	3.0%
スペイン	1.9%
オランダ	1.6%
香港	1.6%
ブラジル	1.4%

◇組入上位5業種

【期末】

業種名	組入比率
電力	48.2%
総合公益事業	33.1%
石油・ガス・消耗燃料	4.3%
各種電気通信サービス	2.9%
独立系発電・エネルギー販売	2.4%

◇組入上位10銘柄

【期末】

銘柄名	国名	業種名	組入比率
ネクステラ・エナジー	米国	電力	4.8%
エクセル・エナジー	米国	電力	4.0%
センブラ・エナジー	米国	総合公益事業	3.9%
アメリカン・エレクトリック・パワー	米国	電力	3.9%
ドミニオン・エナジー	米国	総合公益事業	3.7%
エクセロン	米国	電力	3.7%
ナショナル・グリッド	英国	総合公益事業	3.3%
CMS エナジー	米国	総合公益事業	3.3%
PSEG	米国	総合公益事業	3.3%
RWE	ドイツ	総合公益事業	3.2%

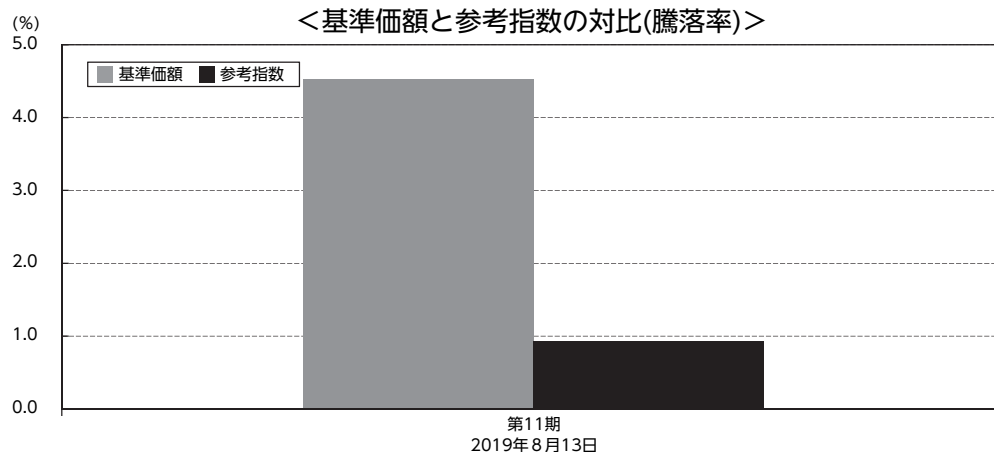
・組入比率は当該投資先ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

<ピクテショートターム・マネー・マーケットJPY>

短期金融商品等に投資を行い円建てでの高水準の元本の安定性と短期金融市場金利の確保を目的とし運用を行ってまいりました。

当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドでは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドと参考指数の騰落率の対比です。



分配金

当期の収益分配は、見送りとさせていただきます。
なお、留保益については、元本部分と同一の運用を行います。

◆分配原資の内訳

(単位：円・%、1万円当たり、税引前)

項目	第11期
	自 2019年2月13日 至 2019年8月13日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,438

- ・対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、当ファンドの収益率とは異なります。
- ・「当期の収益」および「当期の収益以外」は小数点以下を切捨てて表示しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(1) 投資環境

日欧米中の中央銀行の金融政策動向、貿易摩擦や英国の欧州連合（EU）離脱、保護主義の台頭などを巡って市場の不透明感が高まっており、今後もリスク回避の動きから市場の値動きが大きくなることが想定されます。こうした環境下では、収益や配当の見通しがしっかりした公益銘柄への注目度が高まるとみられます。市場の不透明感が増すなか、これまで市場をけん引してきた成長株から公益などの資産株へのローテーションの可能性があり注目です。

(2) 投資方針

投資信託証券への投資を通じて、世界の高配当利回りの公益株を主な投資対象とし、中長期的な信託財産の成長を図ることを目的に運用を行っていく方針です。

<PGSF－グローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・ファンド>

中長期的には世界的に電力などの需要拡大や価格上昇が予想されており、公益セクターの事業環境は良好との見方には変わりありません。特に米国の公益企業の事業や規制環境は他の地域と比べてより良好で、高い成長が期待できると考えます。再生可能エネルギーへの投資シフトがもたらす増益効果の恩恵を受けると期待される企業にも注目しています。また、市場の不透明感が増すなか、公益のなかでもよりディフェンシブ性が高く、収益や配当の見通しが安定し、配当利回りの魅力の高い銘柄を厳選して投資する方針です。

お知らせ

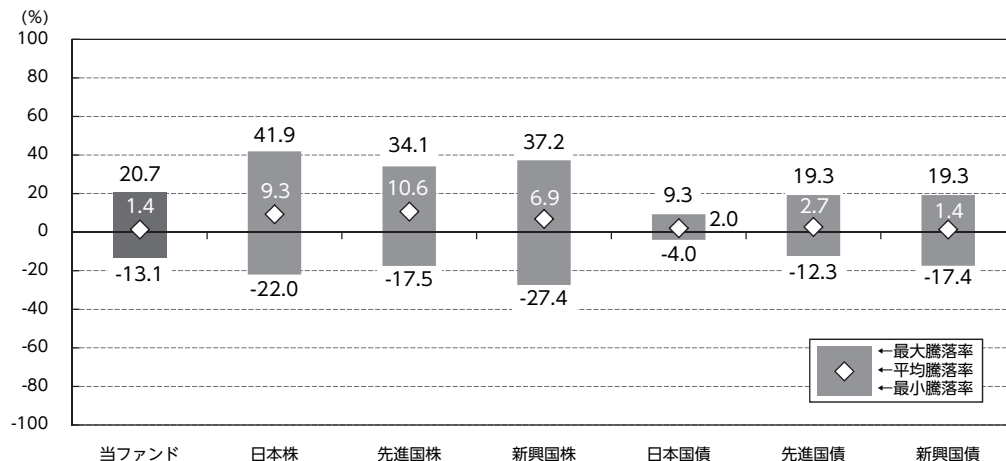
該当事項はありません。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2014年5月19日（当初設定日）から無期限です。
運用方針	主に投資信託証券に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を図ることを目的に運用を行います。
主要投資対象	①ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド・グローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・ファンド受益証券 ②ピクテ・ショートターム・マネー・マーケットJPY投資証券
運用方法	①投資信託証券への投資を通じて、主に高配当利回りの世界の公益株に投資します。 ②実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資制限	①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ②投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託の受益証券以外の有価証券への直接投資は行いません。 ③外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、基準価額の水準等を勘案して委託者が決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 ③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(当ファンド：2015年5月末～2019年7月末、代表的な資産クラス：2014年8月末～2019年7月末)



○上記グラフは、対象期間中の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものであり、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したのですが、対象期間が異なることにご留意ください。各資産クラスについては以下の指数に基づき計算しております。

○各資産クラスの指標

- 日本株 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
- 先進国株 MSCIコクサイ指数 (税引前配当込み、円換算)
- 新興国株 MSCIエマージング・マーケット指数 (税引前配当込み、円換算)
- 日本国債 NOMURA-BPI国債
- 先進国債 FTSE世界国債指数 (除く日本、円換算)
- 新興国債 JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円換算)

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジをしない投資を想定して、ドルベースの各指数を委託者が円換算しております。

- ・すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・騰落率は直近前月末から遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

当該投資信託の組入資産の内容

(2019年8月13日現在)

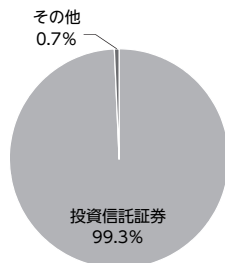
■組入ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

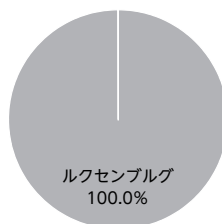
ファンド名	第11期末 2019年8月13日
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・ファンド	98.5%
ピクテ・ショートターム・マネー・マーケットJPY	0.8%

・比率は当ファンドの純資産総額に対する各組入ファンドの評価額の割合です。

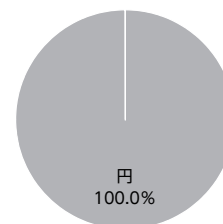
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



・資産別配分の比率は当ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分および通貨別配分の比率は当ファンドの組入投資信託証券の評価額合計に対する割合です。

純資産等

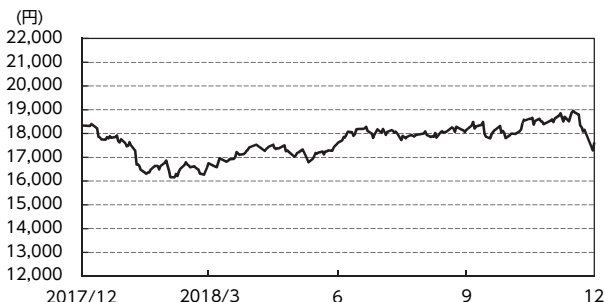
項目	第11期末 2019年8月13日
純資産総額	150,087,449円
受益権総口数	126,554,232口
1万口当たり基準価額	11,860円

・当期中における追加設定元本額は40,450,151円、同解約元本額は4,505,676円です。

組入上位ファンドの概要

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・ファンド
(2018年12月31日現在)

■基準価額の推移



・基準価額の推移は当組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

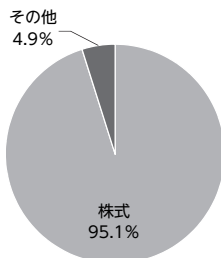
■組入上位10銘柄

(組入銘柄数：66銘柄)

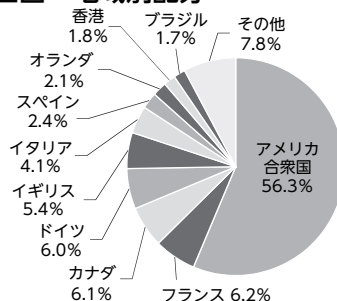
	銘柄	比率
1	EXELON	4.5%
2	DOMINION ENERGY	4.4%
3	AMERICAN ELECTRIC POWER	4.0%
4	NEXTERA ENERGY	3.5%
5	NATIONAL GRID	3.4%
6	PUBLIC SERVICE ENTERPRISE GROUP	3.0%
7	XCEL ENERGY	3.0%
8	SEMPRA ENERGY	2.8%
9	E.ON	2.8%
10	R.W.E.	2.5%

・比率は当組入ファンドの純資産総額に対する割合です。
・全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

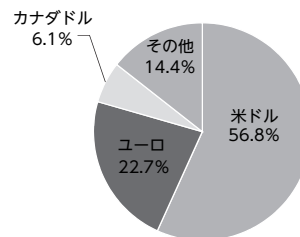
■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分



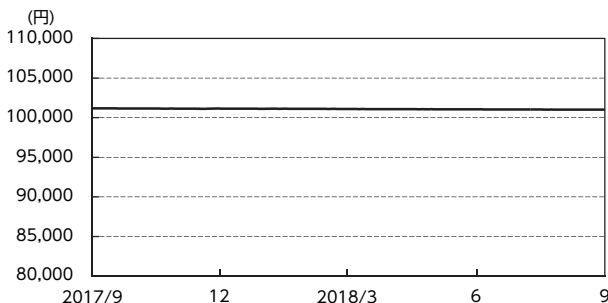
・資産別配分の比率は当組入ファンドの純資産総額に対する割合、国・地域別配分の比率は当組入ファンドの組入有価証券の評価額合計に対する割合です。

■1万口当たりの費用明細

当該情報につきましては開示されていないため、記載することができません。なお、損益計算書については運用報告書（全体版）に記載されています。

(2018年9月30日現在)

■基準価額の推移



・基準価額の推移は当組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

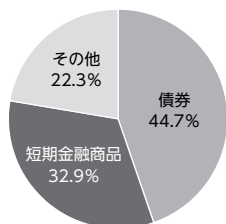
■組入上位10銘柄

(組入銘柄数：43銘柄)

	銘柄	比率
1	TBI JAPAN 10/12/19 '782' -SR-	8.1%
2	0.383% WESTPAC BANKING 14/19 '10' -SR-	3.3%
3	0.407% COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA 14/19 '8' -SR-	2.7%
4	TBI JAPAN 17/12/18 '783' -SR-	2.7%
5	FRN DNB BANK 14/19 '1' -SR-	2.7%
6	FRN CREDIT AGRICOLE 15/19 -SR-	2.7%
7	CD KEB HANA BANK 10/10/18	2.5%
8	CD SUMITOMO MITSUI BANKING (SG) 09/10/18	2.4%
9	2.48% CD BANK OF COMMONWEALTH (AUSTRALIA) 18/18 -SR-	2.3%
10	2.89% ROYAL BANK OF CANADA 13/18 -SR-	2.2%

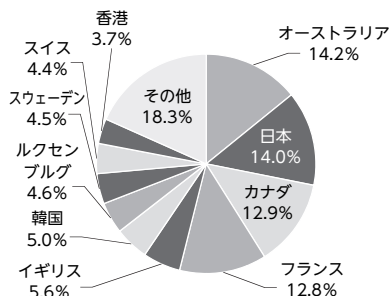
・比率は当組入ファンドの純資産総額に対する割合です。
 ・全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

■資産別配分

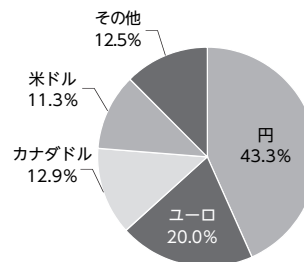


・資産別配分の比率は当組入ファンドの純資産総額に対する割合、国・地域別配分および通貨別配分の比率は当組入ファンドの組入債券および短期金融商品の評価額合計に対する割合です。

■国・地域別配分



■通貨別配分



■1万口当たりの費用明細

当該情報につきましては開示されていないため、記載することができません。なお、損益計算書については運用報告書（全体版）に記載されています。

指数に関して

○「代表的な資産クラスと騰落率の比較」に用いた指数について

■東証株価指数（TOPIX）（配当込み）：

東証株価指数（TOPIX）は、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄を対象とし、浮動株ベースの時価総額加重型で算出された指数で、同指数に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社東京証券取引所（以下「東証」といいます。）に帰属します。東証は、同指数の指数値およびそこに含まれるデータの正確性、完全性を保証するものではありません。東証は同指数の算出もしくは公表方法の変更、同指数の算出もしくは公表の停止または同指数の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

■MSCIコクサイ指数（税引前配当込み）：

MSCIコクサイ指数は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

■MSCIエマージング・マーケット指数（税引前配当込み）：

MSCIエマージング・マーケット指数は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

■NOMURA－BPI国債：

NOMURA－BPI国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。同指数の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また同社は同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、当ファンドの運用成果に関して一切責任を負いません。

■FTSE世界国債指数（除く日本）：

FTSE世界国債指数（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券指数です。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

■JPモルガンGBI－EMグローバル・ディバーシファイド：

JPモルガンGBI－EMグローバル・ディバーシファイドは、J.P.Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的な指数です。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。同指数の著作権はJ.P.Morgan Securities LLCに帰属します。